

学校だより

学校教育目標：志高く 心豊かに 自らを鍛える生徒

平成30年6月1日

狭山市立入間野中学校

校長 尾澤 栄一



考えよう 家族みんなで スマホのルール

私たちは子供たちの
情報モラル育成に取り組みます

入間野中学校



文部科学省

30年度もお陰様で毎日落ち着いた環境の中、学習や部活動等が行われています。今月は、各学年、生徒の皆さんが楽しみにしている旅行的行事が行われます。事前の準備を怠らず思い出に残る行事にしてほしいと願っています。さて、今年度の生徒指導上の課題としてネットトラブルの防止があげられます。昨今、目まぐるしく変化する情報化社会において、中高生によるスマホ等によるSNSやネット上のトラブルは、深刻さを増しています。県内ではSNSでの誹謗中傷が原因で、いじめ等に発展し痛ましい事件も起こっています。さらにゲーム等によるネット依存症についても正しい理解と対策が急務です。ネットトラブルの防止やリテラシーについては、毎年、保護者、生徒に注意喚起をしているところですが、残念ながら本校でも今年度に入りSNSによる書き込みのトラブルが3件発生しました。さらにスマホから手が離せない、気が付いたらネット依存症という事例もあるのではないのでしょうか。すでにご承知のことかとは存じますが、このネットゲーム依存は、WHOにおいて疾病として認定する方針で動いています。また昨年、東北大学の調査研究ではスマホ等による長時間使用は学力に悪影響を与えるという報告もされています。スマホ等のネット環境は、現代社会においては、大切なツールの一つです。上手に利用、賢い消費者として、正しい使い方のリテラシーやルールを作ることは喫緊の課題です。本校では、正しい使い方とスマホ等がもたらす弊害について、生徒や保護者に情報提供し、トラブル等に巻き込まれないことについて、啓発活動をしていきます。

本校生徒の スマホ等の保有率

1学年	55%
2学年	55%
3学年	60%
全校	55.8%

まずは、チェック！ 子供にスマホを持たせる前に

スマホを使うようになれば、インターネットを通じて年齢・性別・場所を問わず多くの人とつながる可能性が生まれます。子供のスマホ使用は、買い与えた親の責任です。保護者自身が意識して行動したいことを以下にまとめました。すでに子供がスマホを所持している家庭でも今からでも遅くありません。子供を守る親の義務として是非、正しい使い方とルールをつくってください。

- スマホを操作できる(資料や情報などがあれば簡単な設定も自分でできる)
- 情報モラルやフィルタリングについての基礎知識がある。
- スマホの正しい利用を態度で示せる。
(歩きスマホをしない 食事中や就寝前に使わない)
- スマホの使用目的や使い方について子供と話し合うことが出来る。
- スマホの使用ルールを子供と一緒に考えて決めることが出来る。
- 家庭内で決めたルールを定期的に話し合い適宜見直すことが出来る。

